

みしま

市議会だより



平成27年度 三島夏まつり絵画コンクール「がんばったしゃぎり」
三島市議会議長賞 市立西小学校2年 こばやし たくみ 巧実さん

9月定例会 会期 9月8日(火)～10月1日(木)

9月定例会の概要	2
決算審査	4
市政に対する一般質問	6
議会報告会開催のお知らせ	12



平成27年 9月定例会

9月8日～10月1日 会期24日間



今回の議案は…

市長提出議案	27件
議員提出議案	1件
請願・陳情	0件

計28件

今号では、この中から
次の3件を Pick Up ☆

決算審査の詳細はp 4～5をご覧ください。

すべての議案名と結果など詳細は、三島市議会
ホームページをご覧ください。

<議第56号> 平成27年度三島市一般会計補正予算（第3号）

【全会一致】

Pick Up
01

一般会計予算を増額補正します。

地方の積極的な取り組みを支援する国の地方創生先行型交付金を活用し、5事業を実施します。また、三島市へのふるさと納税が増加したことに対応するため、増額補正します。

【一般会計補正予算（第3号） 3億8,327万円】

（歳出の主な内容）

●地方創生先行型事業の上乗せ分（3課5事業）	5,624万円
●ふるさと納税推進事業	4,041万円
●税収入還付金	4,200万円
●社会福祉施設整備費等補助金（いづてラス）	1,030万円
●施設補修事業（清掃センター）	1,900万円
●市道維持修繕事業	6,550万円
●一般市道整備事業	6,530万円
●三島市・裾野市及び長泉町消防広域化推進協議会負担金	212万円
●小・中学校施設修繕	2,660万円



ふるさと応援謝礼品カタログ



地方創生先行型住宅マスタープラン推進事業 （住宅取得資金助成事業費補助金 2,350万円）

夫婦のどちらかが40歳以下で三島市に移住する場合には、住宅取得費用について県外からの移住者に100万円、市外からの移住者に50万円を補助します。

（既存住宅診断業務委託料 225万円）

市外からの移住者の住宅を確保するため、売却予定の中古住宅の建物の状況を市が無償で診断する取り組みを始めます。

<報第14号> 平成26年度健全化判断比率及び平成26年度資金不足比率の報告

Pick Up
02 **財政の健全化判断が報告されました。**

平成26年度決算に係る4つの健全化判断比率が報告され、三島市の財政は国の基準を下回り、健全で良好であることが示されました。

【平成26年度健全化判断比率】 (単位:%)

		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
三島市	平成25年度	—	—	7.2	21.9
	平成26年度	—	—	6.6	15.2
早期健全化基準		12.43	17.43	25.0	350.0
財政再生基準		20.00	30.00	35.0	

将来負担比率とは、財政規模に対する借金残高の割合です。昨年度に比べ6.7ポイント改善されています。

※ 実質赤字額、連結実質赤字額がない場合は、「—」で表示しています。三島市は黒字のため「—」となります。

実質公債費比率とは、収入に対する借金返済の割合です。昨年度に比べ0.6ポイント改善されています。



<議第68号> 三島市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例 【賛成多数】

Pick Up
03 **清掃センターにごみを持ち込む際の処理手数料が有料化されます。**

平成28年4月1日からごみの減量化やごみ処理費用の負担の公平化などを目的に、生活系持ち込みごみの処理が有料化されます。事業系一般廃棄物の処理手数料についても、値上げされます。また、新たに粗大ごみの戸別収集も、有料にて開始されます。

◆市民がごみを持ち込む場合

100kg以下は1,000円となります。100kgを超える場合は10kgごとに100円が加算されます。

◆事業者がごみを持ち込む場合

100kg以下は1,200円となります。100kgを超える場合は10kgごとに120円が加算されます。

NEW

◆粗大ごみの戸別収集（有料）

100kg以下の粗大ごみについて、1回につき2,000円で収集にかかっています。

※ 1回の回収量は、100kgまでとなります。

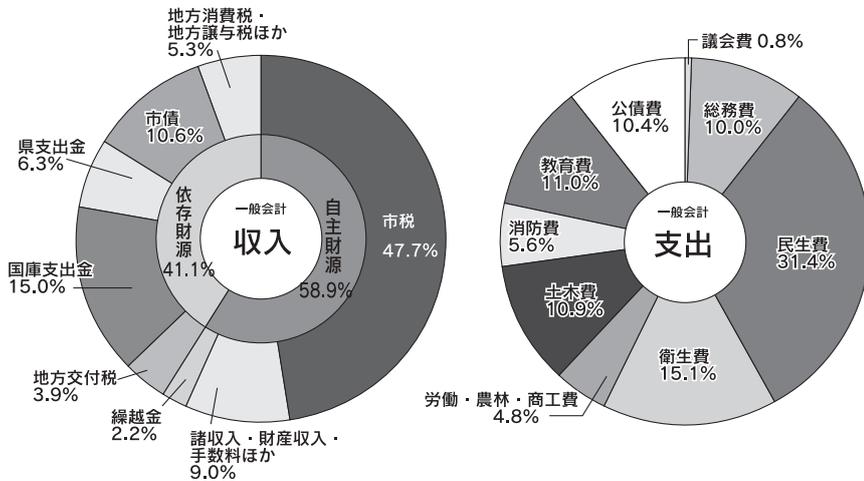


平成26年度決算審査

一般会計決算

収入	支出
364億9,593万円	356億7,189万円

総務、福祉教育、経済建設の各常任委員会では、平成26年度一般会計ほか各種会計歳入歳出決算について、計6日間にわたり詳細な審査を行いました。各委員長による審査経過の報告の主な内容をお知らせします。



(9月16日、17日)

所 管 一 般 会 計



自主運行バス運行委託事業

Q 委託金額は前年度実績に応じて算出され、中郷北部ふれあい号に対する委託料は利用者1人あたり約316円であったが、これに対する見解は。

A 運行委託事業は県からの補助金があるので、中郷北部ふれあい号について市が実質的に負担している金額は約400万円となり、1人あたりでは216.9円となる。国土交通省中部地方整備局の調査結果では定時定路線型バスに対する自治体の平均負担額は1人あたり400円であり、三島市の負担はかなり少ないものである。

意見 他の自治体との比較は、三島市と同規模や似たような地形の自治体と比較すべきではないか。また、赤字路線の補填だけでなく、将来の公共交通のあり方の検討を進めてほしい。

人件費の時間外勤務手当

Q 平成25年度と比較して時間外勤務手当が増えているが、子育て中や介護をしている職員への職場配置に関する配慮はあるのか。

A できる限り子育て中や介護をしている職員への配慮はしているが、限られた人員のため完全とは言い切れない。また、例外的な事業などに対する人員配置はしていないため、部長の判断により、同じ部内で職員を一時的に異動させる制度を活用していく。



放課後児童クラブの整備

Q 北小学校に第二放課後児童クラブを新設したが、ファシリティマネジメントの推進に取り組む中、空き教室の利用は検討したのか。

A 北小学校は児童数も大変多く、空き教室もなかったため、学校と協議し、第二放課後児童クラブを新設した。今後の整備については、学校側でも教室をいろいろな用途で利用しているが、放課後児童クラブが開設できるよう、学校などにもお願いしていく。



特別会計決算

会計	収入	支出
国民健康保険	128億6,574万円	126億806万円
介護保険	69億4,804万円	67億6,358万円
後期高齢者医療	11億965万円	11億546万円
墓園事業	1,022万円	573万円
下水道事業	30億4,169万円	30億458万円
楽寿園	311万円	311万円
駐車場事業	7,862万円	6,941万円
合計	240億5,707万円	235億5,993万円

公営企業会計決算 (水道事業会計)

区分	収入	支出
収益的収支	13億9,075万円	14億2,925万円
資本的収支	1億9,320万円	10億5,377万円



(9月14日、15日)

所管	一般会計
	国民健康保険特別会計
	介護保険特別会計
	後期高齢者医療特別会計

(9月10日、11日)

所管	一般会計
	墓園事業特別会計
	下水道事業特別会計
	楽寿園特別会計
	駐車場事業特別会計
	水道事業会計



小中学校の 非構造部材耐震事業

Q平成26年度は、屋内運動場や柔剣道場の天井材および照明器具などの落下防止対策工事が実施されたが、耐震化率はどのようになったのか。

A平成25年度に文部科学省から平成27年度末までに屋内運動場などの天井材および照明器具などの落下防止対策を完了させるように要請があった。三島市では対策工事を平成26年度と27年度に実施し、屋内運動場などの非構造部材の耐震化率は100パーセントとなった。

公園借地料

Q公園借地料が前年度と比較して約300万円増えている。温水池公園の公園借地料が増えているが、借地料が増えていく中で、どのような経緯で温水池公園を借りることになったのか。

A温水池は源兵衛川から松毛川まで続く回遊ルートの中継地点として、重要な場所と位置づけている。

しかし、温水池公園は中郷用水組合の用地であり、購入するのが難しいため借地している。公園内の一部だけ借地料を支払い、温水池全体を公園として借地している。



市営駐車場の起債償還後の経営のあり方

Q平成26年度で起債の償還が終わったが、今後の経営のあり方についてどのような検討をしてきたか。

A老朽化が進む市営駐車場については、売却できるならば、それを新たな財源として活用し、まちづくりに生かせると考えている。それ以外には、効率のいい運営の仕方や、市営駐車場の利用の向上について検討している。

一 般 質 問

一般質問とは…

市議会議員が市に対して質問を行い、適切な市政運営を進めているか、チェックや提案をするものです。



発言順

16人の議員が行った主な質問について、寄せられた原稿を掲載します。

9月24日～29日

藤江 康儀

(改革みしま)



■マイナンバー制度のセキュリティ対策

◎マイナンバー制度における個人情報保護に関して、サイバー攻撃などへのセキュリティ対策について伺う。

▲三島市情報セキュリティポリシーにより、管理体制は構築している。個人情報を取り扱うネットワークの適切な管理と定期的に職員研修を実施することで、サイバー攻撃による情報漏えいなどを起こすことがないように対応していく。

■長期休暇明けの

児童生徒の状況

◎児童生徒および教師の心理カウンセラーなどへの相談状況を伺う。

▲学校は日頃から児童生徒や保護者が教職員に気軽に相談できる体制づくりに努めており、スクールカウンセラーへの相談も多い。平成26年度は児童生徒665件、保護者569件、児童生徒の指導に関する教職員の相談は114件であった。

野村 諒子

(フォーラム三島)

【他の質問事項】

□三島総合病院お産センターへの今後の関わり



女性就労支援事業「はたらこーざ」講座

■女性活躍推進法への取り組み

◎女性が活躍するために、地方公共団体である三島市が率先して対応すべきと考えるが、市の人事に関して今後の取り組みを伺う。

▲女性活躍推進法では、平成28年4月1日までに行動計画の策定を求めている。法の趣旨にのっとり、積極的な女性の登用を念頭に置きながら、将来に向けた適切な数値目標などを定めていきたい。

■介護保険の対象から

外れる人への対応は

◎要支援1・2の認定者は介護保険の対象から外れるが、新たな担い手と期待されるNPOや地域の組織の育成について伺う。

▲要支援者のサービスの一部が、介護保険制度内の地域支援事業に移行するが、その新たな担い手と期待されるNPOなどの人材や組織の育成については、自治会やコミュニティ協議会、サロンなどと連携し養成に向けて研究していく。



16人の議員が行った主な質問について、寄せられた原稿を掲載します。



服部 正平

(日本共産党議員団)



きたうえ号

■誰もが快適に移動ができる 公共交通

◎路線バスおよび自主運行バスが利用できない地域がある。この空白地域へどのような対応を検討しているのか伺う。

▲路線の新設を含むバス路線の運行に関する要望は、三島市地域公共交通会議で審議し、県協議会の承認を得て、翌年度の運行が許可される。空白地域の自治会などから寄せられる要望についても当会議で検討している。

■買い物支援対策の検討を

◎買い物弱者の増加が見られるが、地域活性化にもつながるような買い物弱者対策関連事業を導入できないか伺う。

▲商工会議所や商店街連盟と協議する中で、実施に向けて意欲のある事業者や協力団体を模索していきたいと考えている。

岡田 美喜子

(新未来21)



個人番号カード (イメージ)

■障がいを持つ人の 就業・雇用促進

◎障がいを持つ人の一般雇用は依然厳しい状況にあるが、市内に就労支援を専門に扱うワークセンターを設置してはどうか。

▲実際に雇用、就労などの支援を行っている雇用相談員やハローワーク三島、駿豆地区自立支援協議会就労部会委員などと協議し、ワークセンターの設置が可能かどうか、今後も継続して検討していく。

■マイナンバー制度に対する 取り組み

◎個人番号カードは自治体独自の使用が可能となる。当市でも地域の特性を活かした取り組みにより、カードの普及を図ってはどうか。

▲本市における個人番号カードの独自利用については、個人番号カードを利用するためのシステムの整備などに多額の経費が必要となるので、市民のニーズとカードの利用効果も十分踏まえながら協議・検討していく。

伊丹 雅治

(改革みしま)



■子どもたちの学びと育ちにおける課題と対策

◎携帯電話・スマートフォンによるいじめやトラブルの実態について把握しているか。

▲ネットトラブルについて各学校から毎月報告を受けている。学校では速やかに対応しているが、LINE(ライン)を中心に外部に出にくい要素も多く、すべてを把握するのは難しい状況にある。家庭とも連携し、未然防止、早期発見に努めたい。

◎子どもの貧困問題に対してもっと早く適切に対処するために、スクールソーシャルワーカーを増員できないか。

▲子どもたちが抱える複雑な問題に対処するためにスクールソーシャルワーカーの専門的な知識や技能が必要とされていることから、現在実施しているスクールソーシャルワーカー活用事業の充実を図り、積極的に活用していく。



ここがききたい!



一般質問





弓場 重明

(フォーラム三島)



三島駅南口東駐車場

■駅前再開発と周辺市町の動向

◎近隣市町の商業施設の動向に注意が必要であるが、三島駅南口東街区の再開発および活性化を推進するためのコンセプトを伺う。

▲訪れたい・住みたいまちとして、市民の皆様にも喜ばれる健康医療機能、郊外店と差別化したにぎわい機能、質の高い住環境などをコンセプトの柱に据え、商店街とのつながりを重視し、街中に人の流れを生む起点としていきたい。

■あきんどくん元気クーポンの課題

◎国庫補助により発行したクーポン券だが、枚数の過不足や、購入できなかった市民が多数いた。販売方法について伺う。

▲三島商工会議所が発行した元気クーポンは前回までの販売状況や他市の状況、新たな消費喚起の観点などから購入の上限を10冊としたが、各販売所に長蛇の列ができ、購入することができなかった方が多数出る結果となった。

下山 一美

(日本共産党議員団)



市営光ヶ丘住宅

■三島市の住宅政策の再構築のための諸課題

◎市営住宅の入居待機者は毎年多数に及ぶが、高齢者世帯、障がい者世帯などの待機者の実態について伺う。

▲9月10日現在、市営住宅入居待機者は98世帯であり、その内訳は高齢者世帯が51世帯、高齢者を含む世帯が7世帯、単身世帯が17世帯、ひとり親世帯が12世帯、一般世帯が11世帯である。そのうち障がい者世帯は21世帯である。

◎市営住宅入居の高齢者などを支援するため、高齢者支援ネットワークを、介護・健康などの部署と連携して構築してはどうか。

▲高齢単身世帯が増える市営住宅では住民相互の見守り支援が有効な手段であることから、今後も入居者の協力を得ながら、既存事業の充実を図る。また、高齢者見守り支援ネットワークなどについても庁内で連携し調査研究していく。

大石 一太郎

(改革みしま)

【他の質問事項】

□多子世帯への出産祝い金と育休退園の見直し



西間門新谷線

■中郷地区の整備基本計画の策定

◎西間門新谷線の早期完成に向けて、総合計画などと整合性を取り、中郷地区市街地整備基本計画の見直しと検討委員会を発足しては。

▲人口減少や高齢社会への対応として、都市機能や居住区域を集約した立地適正化計画と、公共交通網形成計画を平成29年度までに策定予定のため、基本計画の見直しや検討委員会の発足は2～3年後を目途に取り組んでいきたい。

■2市1町による消防広域化

◎法定協議会設立前に、消防職員の給与、福利厚生など処遇について検討し、職員に説明すべきと考えるがどうか。

▲職員には平成26年12月に、消防広域化にあたって身分や給与などで不利益が生じないことを基本とする市の姿勢を説明している。今後も、職員の不安を払拭できるように協議結果について、丁寧な説明をしていく。





16人の議員が行った主な質問について、寄せられた原稿を掲載します。



堀江 和雄

(公明党)



生涯学習センター

■公共施設委託業務の 一括発注への取り組み

◎施設の保守管理・点検業務について、民間からの提案を受けることによる三島市のメリットと克服すべき課題は何か。

▲メリットは1社に長期一括発注することによりノウハウの蓄積と効率化ができ、今後発生が想定されるリスクを把握できることである。課題は現在の分離発注により受託している市内業者の受注機会が失われる恐れがあることである。

■消防事務の広域化による 中郷地域の消防力

◎三島市・裾野市・長泉町の消防広域化により、中郷地域の消防力は定量的にどのように変わるのか。

▲現在、中郷分遣所は10人の職員、消防車1台で運営している。広域化後10年以内に、中郷分遣所の移転改築が行われ、また救急車が配備されることが協議会で合意されており、中郷地域の消防救急力の向上につながるものである。

村田 耕一

(公明党)



介護支援用ロボットスーツ（腰タイプ）

■介護人材不足の現状に 対する改善策

◎介護職の腰痛予防対策として、介護支援用ロボットスーツ腰タイプの導入に向けて、検証を進めてはどうか。

▲市が単独で介護ロボットのリースに支援することは、その運用形態や費用面などから、現時点では難しいものと考えますが、今後も介護人材の育成確保については関係機関と連携し取り組んでいく。

■難病患者リフレッシュ事業 の条件緩和

◎対象者は特定疾患であることが利用条件となっているが、特定疾患以外の方も利用できるように、適用の拡充を図れないか伺う。

▲本事業は静岡県の事業実施要綱に基づいて実施しており、適用の拡充を図る場合は、市の単独事業として、サービスを厚くして実施することとなるため、財政負担などを考慮しつつ、今後調査・研究していく。

佐藤 寛文

(フォーラム三島)

◆用語解説◆
性的マイノリティ（性的少数者）とは…「性」のあり方が非典型的な人のことをいいます。一般的に同性愛者、両性愛者、性同一性障害者などが含まれます。

■性的マイノリティへの 方々への理解と支援へ

◎同性愛や性同一性障害などの性的マイノリティに対する理解は学校教育の中でこそ必要と考えるが、本市の取り組みについて伺う。

▲平成27年4月に文部科学省から学校における支援や体制、教育委員会などによる支援などが示され、各学校に通知した。今後も性的マイノリティも含め、児童生徒の心情に配慮した対応をするよう指導していく。

■消防の広域合併に向けて

◎中長期計画における中央消防署整備の位置づけについて伺う。

▲中長期計画は、今後10年以内の計画として、3市町消防署の耐用年数や財政計画を考慮しつつ、必要な装備や施設の整備をしていくこととしているが、この中に中央消防署の整備は含まれていない。



ここがきたい!



一般質問





瀬川 元治

(緑水会)



国道136号

■総合計画前期基本計画の総括及び後期計画と総合戦略

◎国道136号沿線の調整区域で導入予定の地区計画に関して、進捗状況と今後の計画について伺う。

▲エリアの設定や立地可能な建築物の用途について県と協議している。都市計画法の立地基準に適合した沿道サービス施設などが隙間なく立地しているため、地区計画により用途の転換が可能かどうか、調査・研究を進めていく。

◎西間門新谷線の今後の道路整備の見通しと沿線の地区計画の導入予定について伺う。

▲道路整備は平成30年代後半の完了を予定している。道路周辺には農振農用地や農業施策受益地があり地区計画による土地利用ができないので、道路整備の進捗を踏まえて、沿道および周辺の土地利用の方向性を画一化していく。

佐野 淳祥

(改革みしま)



三島うなぎの蒲焼き(真空パック)

■ふるさと納税で夢のある多様な財源確保を

◎寄附であるふるさと納税は寄附者の意向に沿った使途がふさわしいと考えるが、利潤を特定財源化し、予算に上乘せしてはどうか。

▲寄附額から謝礼品代などの必要経費と三島市民が他市町村へ寄附した場合の税額控除分を除いた純利益について、寄附者の意向を考慮し、決算額確定後、次年度当初予算の新規事業などに充当していきたいと考えている。

◎寄附金の活用分野を4つから選択するが、市外者には分かりにくい。寄附者の意思を明確に把握するために項目を増やしてはどうか。

▲ふるさと納税の使い道をわかりやすく伝えるため、湧水の保全、文化財の改修など具体的な項目10事業程度を掲載し、希望するものを選んでいただく。また、指定事業以外の提案についても今後のまちづくりの参考としていきたい。

土屋 利絵

(改革みしま)



■40歳以上の女性の 三島市職員採用

◎子育てが一段落した、能力ある女性を社会はもっと活用すべきと考えるが、まずは三島市役所から積極的に採用してはどうか。

▲人材の有効活用という点で有益だと認識しているが、今後は退職職員数が減少し、採用職員数自体も減少が見込まれることから、雇用機会の均等な提供や若年層の未就労問題などとも合わせ、慎重に検討していきたい。

■三島市、裾野市および 長泉町の消防広域化

◎消防広域化に向けて議論がされているが、市民への周知は十分でないと感じる。広域化への進め方に対する問題点はないのか伺う。

▲消防広域化は消防行政、消防事務の取り扱いに大きな変化を伴うことから、市民への周知や意見を伺うことは必要と考えており、パブリックコメントの実施や市ホームページなどでの情報発信を行っていく。





16人の議員が行った主な質問について、寄せられた原稿を掲載します。



中村 仁

(緑水会)



市営光ヶ丘住宅

■公共施設マネジメント についての現状と計画

◎2040年には日本の空き家・空き室率は40%になるといわれる。それらへ家賃補助などを行い、市営住宅を削減してはどうか。

▲公営住宅に代わる受け皿として期待される空き家などを活用した国の住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業や、サービス付高齢者向け住宅整備事業の今後の動向を見ながら、市営住宅の建て替え計画などを検討していく。

■三島市の人事・市単独事業 の状況と将来計画

◎職員が大変疲弊している現状を踏まえて、人事と事業のバランスの取れたマネジメントを早急に考え、作成する必要性について。

▲次期行政改革大綱や行政改革実施計画においても、既存事業の廃止や統廃合の可能性を検討しながら、業務量に見合う職員計画を立案し、サービスの質的低下を招くことのないよう、臨時職員なども含めた適正な人員を配置していく。

杉澤 正人

(改革みしま)



小浜池

■楽寿園西門の出入口整備の 検討結果

◎楽寿園西門を一般来園者用出入口として整備することについての検討結果および方向性を伺う。

▲西出入口の設置については検討が必要との楽寿園運営委員会の提言を踏まえ、今後の楽寿園を取り巻く環境の変化を注視しつつ、楽寿園の全体計画や入園者の動線にも配慮し、西門のあり方について更なる検討を進めていく。

■不登校・いじめ問題

◎文部科学省の平成27年度学校基本調査で、不登校が理由の長期欠席者の割合が小学校では過去最高となったが、当市の状況はどうか。

▲小中学校ともに増加傾向にある。平成27年7月現在、小学校0.24%、中学校1.96%で、昨年度比で小学校0.07ポイント増、中学校0.34ポイント増である。全小中学校で取り組むべき重要課題と捉えている。

議会の活動

〔7月〕

- 1日 議会だより編集委員会、社会を明るくする運動街頭宣伝
- 10日 夏の交通安全県民運動事前一斉街頭広報
- 21日 総務委員会
- 22日 議員説明会、議会報告会班会議、東部地区6市4町議会議長連絡会(清水町)
- 27日 静岡県市議会議長会会計監査・正副会長・監事会議(磐田市)
- 28~30日 総務委員会行政視察

〔8月〕

- 15日 平和都市推進事業街頭啓発
- 20日 議会報告会運営会議
- 21日 総務委員会
- 26日 議員説明会
- 30日 総合防災訓練

〔9月〕

- 1日 各派代表者会議、議会運営委員会、議案説明会、議会報告会班会議
- 2日 経済建設委員会
- 8~10月1日 9月定例会
- 8日 各派代表者会議、本会議(議案審議)

- 10日 各派代表者会議
- 10・11日 経済建設委員会
- 14・15日 福祉教育委員会
- 16・17日 総務委員会
- 18日 議会報告会運営会議
- 24日 各派代表者会議、議会運営委員会
- 24~29日 本会議(一般質問)
- 28日 各派代表者会議
- 29日 議会報告会運営会議
- 30日 議員説明会

議会のことをお知らせします みなさんの声をお聞かせ下さい

市議会9月定例会の主な審議内容の報告ほか、今年度は常任委員会ごとに設定したテーマによる意見交換も行います。市民活動センターでは託児サービス（無料）もありますので、希望する場合は事前に議会事務局（電話983-2600）へお申込み下さい。

議

会

報 告 会

これからの
子育て支援
を考える

11月6日（金）
10：00～11：30 託児あり
市民活動センター
（本町タワー4階）

11月7日（土）
14：00～15：30
北上文化プラザ

南口駅前
の再開発は、
どうある
べきか

11月6日（金）
14：00～15：30
中郷文化プラザ

11月7日（土）
19：00～20：30
錦田公民館

未来の
公共交通
を考える

11月6日（金）
19：00～20：30
消防庁舎

11月7日（土）
10：00～11：30
総合防災センター

担
当

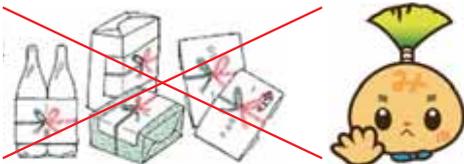
子育て支援（福祉教育委員会）：野村、岡田、土屋（俊）、藤江、中村、鈴木、下山
駅前再開発（経済建設委員会）：土屋（利）、川原、伊丹、瀬川、弓場、村田、服部
公共交通（総務委員会）：佐野、堀江、大石、杉澤、大房、松田、石渡、佐藤



議員の寄附は 禁止されています！

議員は、選挙区内にある者に対して寄附をすると処罰されます。有権者が寄附を求めることもできません。年賀状やあいさつ状を出すことも禁止されています。（答礼のための自筆によるものは除きます。）

市民の皆様のご理解をお願いします。



11月定例会の予定

11月26日（木） 本会議（議案審議）
12月3日（木）～12月8日（火）
本会議（一般質問）
12月10日（木） 本会議（議案審議）

議会だより編集委員会

（委員長） 岡田 美喜子
（副委員長） 中村 仁
（委員） 伊丹 雅治
（委員） 野村 諒子
（委員） 村田 耕一
（委員） 服部 正平